

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
会津若松市	湊地区（東田面）	令和2年12月18日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	78.33 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	78.33 h a
③地区内における10年後までにリタイヤ・規模縮小を希望する農業者の耕作面積の合計	1.50 h a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.50 h a
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	—
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	14.83 h a
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<p><b>■人</b></p> <p>○地域の中心経営体として法人が設立されており、既に集落の農地の大半を集積している。 ○リタイヤ、規模縮小を希望する農業者の耕作面積より、担い手である法人の引き受け面積が大きい。 ○法人の中心となっている農業者の多くが60歳代であることから、法人における若手従事者の確保が必要。</p> <p><b>■農地</b></p> <p>○基盤整備済みである。 ○整備区域外に耕作放棄地が一部あるため、今後取り扱いを検討していく必要がある。</p>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p><b>【10年後の農地利用の在り方に関する基本方針】</b></p> <p>○10年後においても、現在の中心経営体において、集落の農地を管理していくことは可能。 ○法人による営農を持続化させるため、若手従事者の確保が課題。</p>
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	引受作目	引受面積	農業を営む範囲
認農	(株)東田面農産	水稻、そば、大豆	49.1 ha	水稻、そば、大豆	14.83 ha	湊地区
認農	佐藤 國明	水稻	9.6 ha	水稻	0 ha	湊地区
認農	(株)崎川農産	水稻、大豆	4.8 ha	水稻、大豆	0 ha	湊地区
計	3人		63.5 ha		14.83 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

① 担い手への集積・集約化

○耕作不能となる土地(主に田)については、集落の認定農業者を中心に集積を図る。

② 農地中間管理機構の活用

○①と並行して、貸借にかかる事務の一本化を図るため、出し手側の中間管理機構への貸付を推進する。

○最終的には、出し手の全ての土地を中間管理機構への貸付となることを目指す。

③ 多面的機能支払制度への取り組みの継続

○農地の多面的な機能を維持していくため、多面的機能支払制度に継続して取り組むこととする。

○組織体制についても、全面積を担い手だけで維持管理していくことは困難であることから、地域内の農家・非農家についても協力して運営していく。

④ 集積・集約化しない農地の対応

○担い手へ集積・集約化しない農地については、引き続き、自家用野菜の生産等で維持していく。

○自給的農家については、農業繁忙期に担い手へ協力するなど、集落が一体となった農地維持に取り組む。

⑤ 新たな担い手の育成

○法人を持続的に運営するため、将来中心となって農業に従事する若手従業員の確保を図っていくための取り組みを行う。

○具体的には、新規の就農希望者の積極的な受け入れのほか、ハローワーク等を通じた従業員の募集を行っていく。

○以上の取り組みと併せて、冬期間の収入確保のための方策を検討し、具体化していく。